

# 四谷の

# 千枚田だより



第 207 号

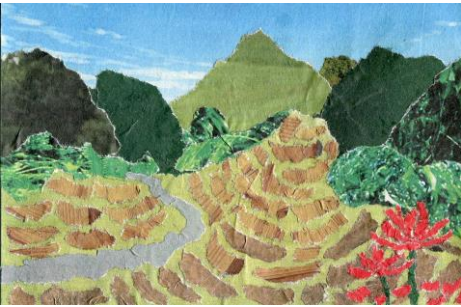
七日から三十日まで新  
城市役所ロ  
ビー、十二月  
七日から二

## 四谷の千枚田絵画コンクール

### 入賞作品の紹介

「2020年四谷の千枚田絵画コンクール」(鞍掛山麓千枚田保存会・東三河郵便局主催 新城市・新城市教育委員会・新城市観光協会・奥三河観光協議会・東愛知新聞社後援)の入賞作品が決まった。

応募作品は東三河や名古屋市などの小中学生から四百八点の応募があり、最優秀賞五名、優秀賞十名、入賞三十五名を選んだ。入賞作品は十一月四日まで鳳来寺郵便局、同六日から十六日まで長篠郵便局、同十

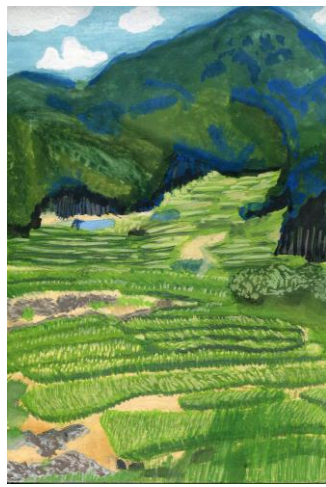


十一日まで道の駅もつくる観光案内所内(最優秀賞五名)、同二十三日から一月二十日までやまびこの丘受付ロビー、四月以降に観来館で展示予定。

### 入賞者(敬称略)

【最優秀賞】作品上から白谷心美(田原市清小二年)緒方葉月(豊橋市天伯小六年)市園真滉(新城市八名中三年)内藤希実(豊橋市牟呂中一年)今泉七海(新城市東郷中二年)【優秀賞】鈴木麻友(新城市東陽小二年)網代穂南(新城市鳳来寺小四年)川越

虎侍(豊橋市玉川小四年)鈴木芽依(新城市東陽小五年)藤田進太郎(桑名市星見ヶ丘小五年)渡邊真人(豊橋市東田小六年)ウイジェーションイェマーシー 陽子(名古屋市川原小六年)種村心花(新城市八名中一年)鈴木美柚里(新城市東郷中一年)村松稜太(新城市東郷中三年)【入賞】加納想楽(二川南小一年)滝川日葵花(新城小一年)佐藤結海(鳳来寺小一年)西元紗英(花田小一年)ませ もあ(松葉小一年)藤平瑞彩(千郷小二年)伊藤颯汰(東郷西小二年)菅谷美羽(鳳来中部小二年)原田一生(鳳来東小二年)井上岳大(二川南小二年)山岸悠希(つじが丘小二年)原田華乃(鳳来寺小三年)豊田勇之介(黄柳川小三年)繁田奈津(東郷西小三年)菅谷陽輝(鳳来東小三年)片岡隼翔(平和小三年)斎藤竜之介(作手小三年)斎藤結斗(新城小三年)入江ひより(鳳来



寺小四年)山本柚季(幸小四年)繁田悠智(東郷西小五年)石井未来(新城小五年)小山瑠梨(二川南小五年)鈴木陽菜里(東郷東小五年)阿比留ゆきえ(新城小五年)原史彩子(千成小五年)入江さくら(鳳来寺小六年)丸田京佳(富士見小六年)八田愛友(東郷東小六年)白井心(八名中一年)安形有生(八名中一年)神谷かんな(東部中一年)岡田愛莉(東郷中二年)種村康希(八名中三年)吉松謙祐(石巻中三年)

入賞商品は本年度新米・図書券・五平餅セット他多数をお届けしました。

四谷の千枚田絵画コンクールにあたり、NPO法人国内産米の粉伝統食文化推進ネットワーク 八雲だんごでお馴染みな(株)丸八製菓さんの多大なご協力を頂き開催しております。



## 施設整備

十一月十五日、保存会(夏目宏一、高橋孝行、中村直人、小山傳治郎、小山秀夫、松下誠、原田英史、小山舜二)は①作業道・景観道の老朽カ所を市地域整備係から支給された



DR ミックス(アスハルト)で補修、  
②仮設トイレ取付道に砂利を敷設、  
③ふれあい広場の枯木や展望を危惧するコブシなどの除伐を行った。  
なお、整備に不可欠な小型ダンプ、転圧ランマ、砂利などは地元小笠原建設のご協力を頂きました。

ふるさと水と土ふれあい事業で整備されて以来十七年の歳月を数え、彼方此方が老朽化してきた。すでに四阿の屋根、ベンチ、橋の防腐剤塗りなど、部分的に修復してきたが寄る年波に作業道(景観道)は舗装の化粧の砂利が浮き出し、訪れる人たちが石車に乗って転倒したり、怪我でもしないかヒヤヒヤものである。また、水車小屋の水車が壊れていたり、ベンチも腐り、無様な姿を晒すなど、施設全体の老朽が進み、早期な保守整備が必要と思われる。作業終了後には定番の「鳥長のかわきも」を主役に酒盛り、炭切りで焼いた生サンマはバカ旨く、会員は好き勝手に言いたい放題、鋭気を養ったことは言うまでもない。

### ふるさとウォーキング

#### & グランドゴルフ

十一月八日、連谷公民館主催のふるさとウォーキングが行われた。

コースは旧連谷小学校を起点に

千枚田を上り、古宿で待ち構えた郷土史家の丸山惇志さんの庚申塚を皮切りに聖さま(二百四号で紹介)の伝説を聞き、愛宕さまに祀られている祠と石仏、また、社殿内の仏像「阿弥陀如来坐像」は寒狭川筋唯一の市指定文化財で、故郷自慢の木像である。等々の説明に耳を傾けた。

帰路は「ちよつともないじゃんかん」：「きれいなもんだ」：「などわいわいがやがや、ゴミを拾いながら校庭へ。校庭では役員が賄うキノコ汁や味飯に舌鼓。午後はグランドゴルフに競じるなど、参加者約四十名は、晩秋の楽しい一日を過ごした。

### 松井副知事さん訪問

十一月二十日、松井副知事さん(東三河県庁担当)が四谷の千枚田を訪れた。かつては愛知県水産試験場内水面分場鳳来養魚場であり、現在は「ふれあい広場」として様々な活動の場となっている。その、ふれあい広場の一角に、保存会を中心に環境に配慮した数々の保全活動が認められ、エコを重視した愛知県第一号の小水力発電装置「でんでんちゃん」が設置されている。副知事さんは県庁でコロナ対策会議が二十分ほど長引き、午後二時二十分に到着。同時に雨もやみ、眼下の雲間に広がる

「四谷の千枚田」を一目見るなり「素晴らしい、よく管理されているし、ご苦労が窺われる」と感謝の言葉を頂いた。

・小水力発電の説明は愛知県新城設楽農林水産事務所川島所長さんが行った。

・養魚場については小山舜二から県水試としての成果、「鳳来マスの作出、アマゴの人工産卵(岐阜水試に次いで二番目に成功)、アマゴの降海型サツキマスの生態解明、イワナの種苗生産の確立、県ブランド品の絹姫サーモンの作出」等々を説明。

・千枚田も昭和四十六年には約千三百枚耕されていたが、減反政策や経済成長の余波で平成の初頭には三百七十枚まで減少、現在は約四百枚が耕されている。鞍掛山が森林化、湧き水が当時は秒間二十リと豊富であったが、現在では秒間七リ程度に減少、水量と田んぼの枚数はバランスが取れており、これ以上の復田は考えていない。との説明に副知事さんは大きく頷き、また、お邪魔したいと、感謝と激励を頂いた。

行 令和二年十一月一日

鞍掛山麓千枚田保存会

発 文 責 小山舜二